

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも不利益が生じることはありません。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

### 【照会先の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

聖路加国際病院薬剤部 大森 崇行

### 【研究責任者】

聖路加国際病院薬剤部 大森 崇行

# 曝露対策構築を目的とした抗がん薬の 薬物動態予測に関する研究

## 1.研究の対象

・2009年4月～2019年12月の期間に聖路加国際病院（以下、当院）薬剤部オンコロジーセンター及び薬剤部調剤室における環境モニタリング調査及び2009年・2016年にシクロホスファミド尿中残留試験の調査にご協力いただいた職員・関係者

## 2.研究の目的・方法

当院では、抗がん薬の職業性曝露を最小限に抑えることを目的として、全ての抗がん薬の調製から投与までを閉鎖式薬物移送システムを用い、定期的に環境中の抗がん薬モニタリング調査を実施しております。しかし、発がん性・生殖への影響・その他健康被害に関する報告や曝露経路についての報告は限られているのが現状です。

本研究は、当院で既に得られている抗がん薬(シクロホスファミド、パクリタキセル、メルカプトプリン)の環境中の抗がん薬モニタリング調査の結果に基づき、吸入や経口摂取、皮膚接触等の予想される曝露経路から、抗がん薬の体内動態をコンピュータ上でシミュレーションし、生体への影響を検討することが目的です。

2009年4月～2019年12月の期間に測定された環境中の抗がん薬モニタリング調査結果及び尿中残留試験結果のみを解析に用います。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2023年3月31日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

・当院オンコロジーセンターにて実施されたシクロホスファミド・パクリタキセル環境モニタリング調査結果（ふき取り調査及び尿中残留試験結果）

・当院薬剤部調剤室にて実施されたメルカプトプリン環境モニタリング調査結果（ふき取り調査）

## 4.外部への試料・情報の提供

個人が特定されることの無いよう全て匿名化された状態で電子データ化し、日本大学と共同で解析を行います。データは、当院の研究責任者が保管・管理し、研究責任者以外がアクセスできない状態で行います。

## 5.研究組織

日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室教授 松本 宜明

日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室専任講師 宮本 葵

日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室専任講師 青山 隆彦